

バドミントンの世界選手権女子シングルスで初優勝した



おくはらのぞみ
奥原 希望 さん



実に1時間50分、諦めずに戦い抜いた世界選手権決勝は、何度も挫折を乗り越えてきた日本のエースの人生そのものだ。驚異的な粘り強さ、どんな逆境にもめげないたくましさ。身長157センチの小さな体に詰まった魅力を存分に発揮し「世界女王」というのはすごく特別」と喜びをかみしめた。

命に食らいついて返球するスタイル、ひたむきに立ち向かう気持ちの強さの原点だ。

埼玉・大宮東高1年生の頃、「日本一になるには日本一の、世界一になるには世界一の練習をする」と紙に書き、自室の壁に貼った。その高い意識で歴史の扉を開き続けてきた。2011年、史上最年少の16歳8カ月で日本一に。昨年のリオデジャネイロ五輪で、シングルスの日本勢で初の銅メダルを獲得。今回ついに日本選手で初めてシングルス世界一になった。

練習熱心さは誰もが認め、本人も「スイッチが入ると、とことんやってしまうタイプ」と語る。左膝半月板損傷の重傷を負い、初めて手術した13年4月。歩くのもままならなかった入院中に「素振りをしてもいいですか」と医師に尋ねて止められたことも。その後も大きな故障を重ねたが、不屈の精神で復活した。好きな言葉の「克己心」がびたりとはまる22歳。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【 】

① 奥原さんが小学生の頃、バドミントンの練習相手はだれでしたか？

② 奥原さんの好きな言葉を書きましょう。

③ 記事を読んだ感想を書きましょう。